

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム リエゾン長崎

## 目標達成計画

作成日: 令和2年 4月28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |   |   |            |
|----------|------|---|---|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 9    | 現在、運営推進会議のなかで身体拘束適正化委員会を定期開催しているが、運営推進会議と議事録等も一緒にしており区別化と具体化がされていなかった。今後、運営推進会議と身体拘束適正化委員会との区別化と具現化することが課題。 | 運営推進会議と身体拘束適正化委員会の内容及び議事録等の区別化と具現化する。                       | 今度の運営推進会議の際に運営推進会議と身体拘束適正化委員会と次第を別々に作成し具体的な議題を記載。また、それに伴い議事録も別々に作成する。                   | 2ヶ月        |
| 2        | 9    | 現在、毎年身体拘束に関する研修は実施していましたが、それにかかる実施記録や全職員への周知状況がわかる記録がなかった。今後、それらの記録の整備が必要。                                  | 身体拘束に関する研修の実施や職員周知のわかる記録を整備する。                              | 研修資料や日時、参加人数、研修不参加者への伝達研修の状況が分かる記録の作成をする。   | 2ヶ月        |
| 3        | 35   | 定期訓練の中で指示職員や役割分担など体制が不十分であったため、いざという有事の時にスムーズな避難誘導ができる工夫が必要。  | 定期訓練時に指示職員や役割分担などを明確にして実施する。また、避難誘導後の確認を外部の方が見てもわかるように工夫する。 | 令和2年度の定期訓練から指示職員や役割分担を随時決めて実行し訓練して、有事に備える。また、避難誘導後の確認についてもミーティングの中でスタッフみんなで思案し検討して実行する。 | 2ヶ月        |
| 4        |      |   |   |   | ヶ月         |
| 5        |      |   |   |   | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。